



●大韓民国館



●イスラエル館(左)



●ウズベキスタン館



●カザフスタン館



●ベトナム館



●マカオ館

中国国家館で歴史を再認

中国国家館のテーマは、都市発展における中華の知恵です。中国文化の精神や気質が表現されています。パビリオン(写真右上)の写真撮ったのですが、あまりにも大きくて写真には全体が入りません。下のほうに小さく写っているのが来場者ですので、どれだけ大きいのが分かると思います。

館内の大型スクリーンには、北宋時代の国家級の名画といわれる「清明上河図」が再現されていました。1000年も前の有名画に描かれた人物などが、まるで映画のように動き、古代人の知恵が伝わってきました。

このほかにも、北京館、天津館、河北館、山西館、内モンゴル館、吉林館、黒龍江館など中国の各省の館が並んでいました。

※中国の宋代の都を描いた絵巻物で、都城内外のにぎわいの様子などを伝える歴史的にも貴重な資料です。

面白かったパビリオン紹介

*カザフスタン館

テーマは「アスタナ～ユーラシア大陸の心」。館内には、カザフスタンの過去と現在と未来が展示されているそうです。

*ウズベキスタン館

テーマは「ウズベキスタン:文明の合流」。パビリオンの外観は波の形をした鏡面の構造を用い、光と影の変化によって色が変わります。

*イスラエル館

テーマは「イノベーションで生活をより素晴らしくー自然・歴史・未来と対話ー」。建物は流線型で環をつくった両手や貝に似ています。

上海市場で見つけた食べ物



●ライチ



●ビータン(左)とお菓子



●クエン



●ビーナツ菓子

日本で見られるライチは、小さくて冷凍した物が多いですが、上海のものは直径5cmほど。中身は白濁色、寒天状で甘くおいしいです。クエンは固い皮に包まれた2cmほどの木の実で、甘くてさわやかな味がします。特に、お産をするときには「力になる」といわれています。



スケールの大きな上海万博。たくさんパビリオンだけでなく、世界各地の「ごちそう」を味わえるのも楽しみ方の一つです。さまざまな国の歴史や文化を体感し、環境保護や都市発展のための知恵も学ぶことができました。